

VII 世羅小学校研究構想図

令和8年度 研究構想図

【学校教育目標】 自ら考え 自ら学ぶ児童の育成

【本校で育てたい資質・能力】
○主体性 ○表現力 ○自らへの自信

【児童が身に付けること】
①主体性
②貢献する
③人を大切にする

【教職員の取組】
・児童に学力をつける
・単元を構想する
・ICT活用

【研究主題】
「根拠を基に、自分の言葉で表現できる児童の育成」
～数学的な見方・考え方を働かせる『問い・見通し・まとめ』の充実を通して～

【研究仮説】
「問い」に対し、子供たちが「数学的な見方・考え方」を働かせて、自ら「まとめ」を創り出す活動を取り入れれば、根拠をもとに自分の言葉で表現する児童が育成できるとであろう。

段階	①課題把握	②自力解決	③思考表現	④振り返り
学習指導 〈側〉	・問題（既習）を解かせる。〈側〉 ・問題を提示する。 ・本時のめあてを確認する。 ・見通しをもたせる。〈側〉	・自分の考えをもたせる。〈側〉 ・分かりやすい表現の工夫をする。〈側〉 ・よりよい方法を検討させる。〈側〉	【集団解決】 ・ペア・グループ活動の中で自分の考えを表現させる。 ・友達の見方を聞く。〈側〉 【再形成】 ・他のグループの考えと、自分たちの考えを比較し、よりよい考え方を検討する。〈側〉 【再形成】 ・本時で得た「数学的な見方・考え方」を改めて確認する場を設定する。〈側〉	・本時のまとめをする。 ・振り返りの視点を提示し、書かせる。〈側〉 ・適用問題を解かせる。〈側〉
数学的な見方・考え方を働かせる姿イメージ	自分の予想や感覚、既習事項を基に課題意識をもち、解決の見通しをもとうとしている。	既習の知識及び技能を活用しながら、根拠を基に解決方法を考えたり、選択したり、表現したりしている。	自分と友達の見方を比較し、共通点や相違点を見出そうとしている。 自分と友達の見方を比較しながら、目的に応じたよりよい解決方法を導こうとしている。 自力解決、集団解決で出された考えを、統合的に捉えたり、新たな課題に発展的に活用したりしている。	学習を通して得た数学的な見方・考え方を基に、統合的・発展的に考えたり、一般化を図ろうとしている。
研究の土台	【安心感のある学級づくり】 ・生徒指導部と連携し、児童のよい姿を価値付けながら、教師と児童、児童同士のよい人間関係が形成されるような学級をつくる。	【基礎・基本の学力定着】 ・算数タイム、学びタイム（低学年）で、基礎・基本（読み、書き、計算等）の学力を補強する。	【チーム世羅小学校】 ・「互は相手を尊重して受け止める」「お互いの思いを聞き合う」ことを大切にしたい安心感のある教職員集団を構築する。 ・教職員一人一人が主体的に教育研究の推進に関わる自覚と責任をもつ。	

練習の再形成のまとめの段階で児童主体でまとめをつくる過程を取り入れる。

まとめの判断基準
①正対 ②根拠 ③一般化

まとめの段階指導
①視点カードの活用
②文末の提示
③キーワードの明示

児童の言葉を引き出し、比較し、統合するファシリテートに徹し、児童自らが根拠あるまとめをつくり、数学的な見方・考え方を働かせる

【練習の再形成のまとめの段階で児童主体でまとめをつくる過程を取り入れる】

※1「わかりやすい表現の工夫をする」
・立式だけでなく、図、イラスト、言葉等の表現に置き換えて表現させる。
〈側〉
・表現方法の選択様を示す。〈側〉
・表現ツールの選択様を示す。〈側〉
〈ICT、ノート、ワークシート等〉

※2「よりよい方法を検討させる」
・「ほかどこ」劇紙を活用して、自分の考えについて多面的に考えさせる。〈側〉
〈側〉
・「ほかどこ」の選択様を示す。
・表現ツールの選択様を示す。〈側〉
〈ICT、ノート、ワークシート等〉

※3「友達の見方を聞く」
・自分の考えと友達の見方を比べて見つけたところ、似ているところを表現する。〈側〉
〈側〉
・おなじい見方を比較する観点をもって、話し合わせることで類似性や共通性に気づかせる。

※4「グループの意見をまとめる」
・「ほかどこ」劇紙を活用して、自分と友達の見方について多面的に考えさせる。〈側〉
・完成的な場面や現実の生活について考察する。〈側〉
・「ほかどこ」の観点をもって、話し合わせる。

※5「再形成」
・本時のまとめの前に、再度本時の学習で身に付けた数学的な見方・考え方を説明させたり、整理させたりする。
・適用問題を解決するための見通しをもたせる。〈側〉
・表現ツールの選択様を示す。〈側〉
・友達と自由に確認する時間を設定する。

※6「振り返りの視点を提示する」
・振り返りの視点（劇紙）を提示し、選択様を示す。
〈側〉
・表現方法の選択様を示す。
・表現ツールの選択様を示す。

【練習の再形成のまとめの段階で児童主体でまとめをつくる過程を取り入れる】

「練習の再形成のまとめの段階で児童主体でまとめをつくる過程を取り入れる」